

呼吸器内科

研修指導者名

井上 博雅 東元 一晃 寒川 卓哉 水野 圭子 金澤 裕信
町田 健太朗 岩川 純 渡辺 正樹 山元 滋樹

メッセージ



「鹿児島大学呼吸器内科」

呼吸器は生死にかかわる重要臓器であり、呼吸器内科は医師として“やり甲斐のある科”です。

呼吸器疾患の患者数は増加の一途をたどり、GARD (Global Alliance <世界の死因動向予測> against Chronic Respiratory Diseases) と称する呼吸器疾患に対する世界規模の包括的な取り組みが始まりました。WHOは今世紀の人類にとって呼吸器疾患が最も重要な問題になると予測しています。呼吸器領域は、感染症、免疫・アレルギー、腫瘍など、極めて広い分野の診療を行います。さらに救急救命医療や一般内科診療 (General) とも密接に関連した知識や技術を身に付けていきます。

<診療について>

ともに「地域から学び、地域を支える医療」を実践しませんか。

さらに鹿児島県は長寿県であり、多くの離島をもち、変化に富んだ気候、多彩な環境が特色です。これらは、ときにさまざまな特徴ある呼吸器疾患に関連することもあります。寄生虫が関与する疾患、また南九州に多いウイルスHTLV-1に関連した肺疾患、アレルギー性疾患やさらに高齢化社会ならではのCOPDや肺癌など、さまざまな呼吸器疾患の地域特性・多様性があります。

われわれ呼吸器内科学教室はこれらの問題に正面から取り組み、地域医療の中にあるテーマをひとつひとつ解明するとともに、大学病院を中心に、広い県土をもつ鹿児島県の多くの地域関連病院・協力病院とも連携し、離島や山間地などに住む人々の健康を支える努力をしています。

<教育について>

質の高い呼吸器診療の担い手としての医師の育成が最大の使命

鹿児島大学呼吸器内科学教室は、質の高い呼吸器診療を担うことのできる医師を育成することが最大の使命と考えています。

研修目標

「質の高い呼吸器診療」と「世界トップレベルの研究」を担い、鹿児島県において「地域を支える医療」を実施できる医師として日々成長することを目標とする。

そのためには医学知識や医療技術のみならず、豊かな人間性、グローバルな視点、迅速な問題解決能力・行動力を身につけるように努力する。



研修可能技能

内科医としての一般的な臨床手技に加えて、呼吸器内科専門医として必要な、多岐にわたる呼吸器疾患（アレルギー、腫瘍、感染症、びまん性肺疾患、呼吸不全など）の診断・治療計画を自ら立案し、実施できるよう専門的知識、技術（気道確保、呼吸管理、画像読影、気管支内視鏡、胸腔穿刺など）を身につける。

取得できる専門医資格技能

- ・日本内科学会認定医
- ・日本内科学会総合内科専門医
- ・日本呼吸器学会専門医
- ・日本感染症学会専門医
- ・日本アレルギー学会専門医
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医
- ・がん治療認定医

特 徴

「初期研修」を通じて、一般内科診療の中にある呼吸器疾患のプライマリケアができることを目標に。「後期研修」では、呼吸器内科スペシャリストとして地域医療に貢献できる人材を育成していきます。さらに呼吸器医学の発展のため世界に羽ばたく研究者の養成にも力を注いでいきます。

※初期研修医の皆さんに向けて呼吸器内科に関する知識や技術を広く啓発するために、「呼吸器セミナー」や年に数回「初期研修セミナー」も開催しています。（詳しくは担当者まで）。

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

鹿児島大学病院、鹿児島市立病院、国立病院機構南九州病院、今給黎総合病院、南風病院、県立北薩病院、薩摩川内市医師会病院、鹿児島厚生連病院

研修期間

呼吸器内科専門医（呼吸器内科臨床コース進学後3～5年）
学位（大学院コース進学後3年～4年）

研修プログラム

後期臨床研修

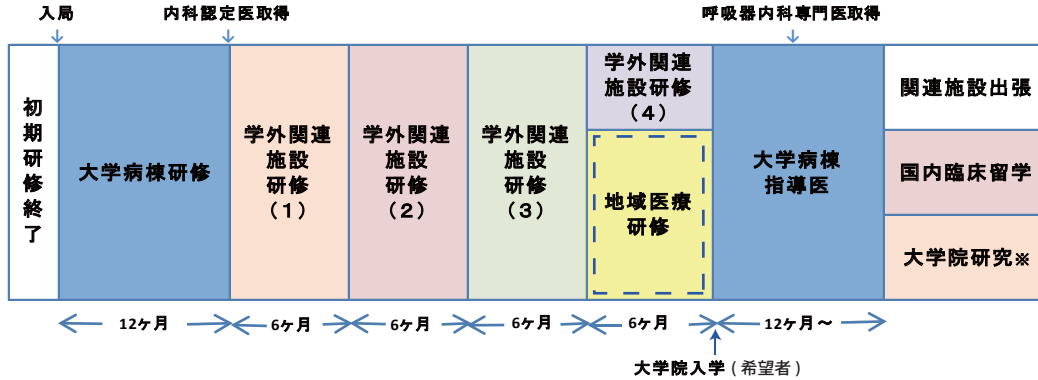
呼吸器内科専門医養成コース

呼吸器内科専門医を養成するため、大学病院、関連施設において、多岐にわたる呼吸器疾患（アレルギー、腫瘍、感染症、びまん性肺疾患、呼吸不全など）の診断・治療計画を自ら立案し、実施できるよう専門的知識、技術を身につける。



研修プログラム (標準的な後期研修スケジュール)

●標準的な後期研修スケジュール



※当科は、日本呼吸器学会専門医制度認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設です。

< 関連研修施設 (後期研修教育) >

今給黎総合病院 鹿児島市立病院 南風病院 NHO南九州病院(加治木) 鹿児島厚生連病院など

※市中の第一線病院の現場で急性期医療、呼吸器common diseaseなど、大学では診る機会があまり多くない疾患の診療を通して、呼吸器内科医としての幅広い知識と技術を学びます。

< 地域医療研修関連施設 >

鹿児島県立北薩病院 肝属郡医師会立病院 田上病院(種子島)など

※鹿児島県の離島や地方の中核病院において、地域医療を担いつつ、Pulmono-Generalistとしての実力をつけていきます。(約6カ月のOptional Course)

大学院 (博士課題コース)

※大学院入学時期は個人の希望等により調整することができます。その際は後期臨床研修時期の変更調整も行います。

医局の様子



医局カンファレンス風景

研修医セミナー

後期研修医学会発表 (井上教授)

院内野球大会

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	1	(0)	0
卒後4年目	0	(0)	4
卒後5年目	0	(0)	4

プログラムの募集人員及び選考

- 【募集人員】 5名程度／年
【選考】 適宜、面談させていただきます

研修と大学院の関係

初期研修終了3年目以降（卒後5年目以降）から大学院進学コースを設置している。
学位習得後に学外施設での研修および留学（国内・国外）を設定している。
国内研究留学：九州大学呼吸器内科、慈恵医科大学呼吸器内科、日本医科大病理学など
海外留学：University of California San Francisco
Weill Cornell Medical College, New York.
Vanderbilt University, Nashville, Tennessee,
McMaster University, Hamilton, Ontario, Canada.
University of Sydney, Sydney Medical School, Austrariaなど

処遇

大学病院医員としての待遇

研修終了後の進路

大学病院あるいは総合病院呼吸器内科（教育施設）での診療及び教育・指導にあたる。
また国内外への留学によるさらなる研鑽も可。

指導医・専門医

日本呼吸器学会指導医（3名）、専門医（18名）、日本内科学会総合内科専門医（9名）、
日本アレルギー学会指導医（2名）、専門医（3名）、がん薬物療法専門医（1名）、
がん治療認定医（8名）、日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医（2名）

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 呼吸器内科
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号
TEL 099-275-6481（医局）
Fax 099-275-6482
E-mail: ikkou@m2.kufm.kagoshima-u.ac.jp（東元）
HP: <http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~pulmo/index.html>
Facebookページ：鹿児島大学 呼吸器内科

